



西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会



花の
あはれ

ちの
あはれ

あはれ
あはれ
あはれ

2017

会長あいさつ

西麗会会長 村上明夫(昭和36年卒)



全国の西麗会会員の皆さん、
お元気ですか。

西麗会——同窓会の役割は
色々ありますが、現在の学校と
の関係で言えば二つあると思
います。

一つは、浦和西高校の主人公
である現役の生徒さんや先生方を応援することです。西麗会と
してはグローバル化に対応する学校づくりのお手伝いや、西高
祭支援、そして入学・卒業記念品の贈呈などの形で行っています。
もう一つは、浦和西高校の歴史と伝統を伝えることです。西
麗会文庫の設置や周年行事の際の諸事業への参加等がこれにあ
ります。

埼玉県内には約100を超える公立高校がありますが、学校
周辺の景観が大きく変わっている学校がほとんどです。私たち
の母校、浦和西高校は都市部にしては比較的良く昔の景観を残
している学校だと思います。

試験的に実施した「西麗会セミナー」や毎年発行している
「西麗会会報」でも学校周辺の歴史と文化の伝承に努めました。
今年も西麗会の役員一同「浦和西高校」と「西麗会」の発展
のため頑張りますのでよろしくお願致します。

表紙のことば

ものふの^{やそそとめ}八十少女らが

汲みまがふ寺井の上の^{かたかご}堅香子の花

大伴家持(巻十九の四一四三)

「たくさんの乙女たちが入り乱れてくみさわぐ、寺井のほとりのかたかごの花よ」

「堅香子」「かたかご」は、カタクリの万葉の古名。少しうつむきかげんにかたむいて
咲く可憐な花の形が、傾いたカゴに似ているのでこの名となった。

かつては、この球根からデンプンを採って片栗粉にしたが、今はジャガイモからとる。

西高の万葉の庭に植えられたカタクリは土が合わなかったのか花は咲かず、桜の咲く
ころになると少し斑の入った緑の葉だけが出てくる。

写真は赤城山西麓の「赤城自然園」で撮ったもの。

まだ冬枯れのままの森の中、散り積もった枯葉から顔を出して群生していた。

春の訪れを喜び合って井戸端でにぎやかに集う乙女子たちの姿が、群れ咲くカタクリ
の花に重なった。

(歌の解釈は「万葉の庭—散策の栞」より)

私と西高

ここだけの話

小木 逸平 (平成五年卒)



「暗黒時代」と私は自らの中学時代を呼んでおりまして。大げさといえは大げさなのですが、思春期の苦しみがちよつと激しかったんでしょね、思ひ出すのは同級生との関係に苦しんだことばかり。そんな暗い気持ちの真つただ中にいた中学3年生が風の噂で(??)西高のことを知って、その自由な空気に触れたとき、大げさではなく暗闇に光が差し込んだ気がしたものです。

何もやる気が起きなかった中学生が「自由」を求めて急激に勉強する気になったのは受験の3、4か月前。何とかなるもんですね。

初めて登校した西高校舎は、陽光の中で輝いています。ただ、暗く緊張していた生活から一気に弛緩してしまつたのが良くなかつた。「自主自立」は好き勝手に自由気ままに生活することではない！と声を大にして当時の私に伝えてやりたいのですが、あいつは聞く耳を持ってくれないだろうなあ、というぐらゐ暴走気味に自由を謳歌しておりました。自由というより自堕落。毎日のように黒板に「小木至急国準へ」と書いてあったことが忘れられません(登校し次第、国語準備室へ来なさい！という意味です)。すみませんでした先生。

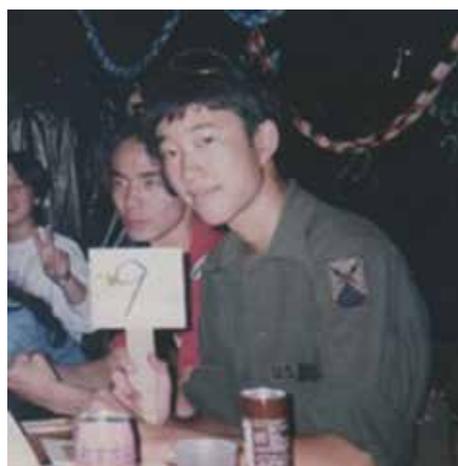
ニュースを伝えるアナウンサー、メガネ、真面目そう等のイメージからか、高校時代の話をすると「意外ですねえ」なんて反応をされますが、当時は無理やり積極的に評価すれば、あれはあれで「真面目」だったのです。遊び回つた後で悪友たちとは長時間議論するのが常でした。人生について、国家について、社会の理不尽について。壮大なことを語り合つて世界の悩みを自分が抱えているような気になっていました。いつしか、将来何らかの表現をして生きていきたいという漠然とした願望が心に芽生えてきたように思います。西高の「自由」に甘えていた自分でしたが、あの羽を伸ばしきつたモラトリアムがあつてこそ今の自分がある…のかもかもしれません。

その後さらに1年間の浪人生活という負担を親にかけ、迷惑かけ通しで、いよいよ勉強に目覚めるかと思いきや、今度は「落語」にはまり、大学では落語研究会に入り浸るようになります。その落語で学生選手権なるものに優勝したのがアナウンサーへの道を拓きました。

テレビ朝日のアナウンサーとして約20年。本当はバラエティー番組を担当したかったのですが、ほぼ一貫して情報・報道番組畑を歩んできました。学生時代と違い今はよく勉強しています。

当たり前ですね。スタッフとああでもない、こうでもない議論していると、西高時代の懐かしき悪友たちとの議論を思い出す、と言いたるところですが、そんな暇は微塵もなく、つねに期末試験前日状態であれこれ頭に詰め込みオンエアに臨む毎日です。

もどかしくも何か表現したいという思い、自分の核になるものが朧に見え始めた頃。私にとって大切な3年間で



(プロフィール)

テレビ朝日 アナウンサー

小木 逸平 Kogi Ipppei

ワイド!スクランブル出演中

(2017年3月現在)

あの年の友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

鎌木美恵子(昭和14年卒) 岡山市

旭川の水もぬるみ山の緑が目にしみる頃になりました。うぐいすの鳴く声も間もなく聞こえて来る事でしょう。週に一日体操教室に通い元気に過ごして居ります。

井上(金田)昭子(昭和19年卒) さいたま市

いつも会報 有りがとうございます。夫も二人の娘も西高には縁がありませんでしたが、寄付は欠かさず続けました。でももう今年満で89才になります。

北原昌子(昭和19年卒) 新座市

私は旧7回卒のものです。8回か9回卒のもと斉藤愛子さん、其の後青木さんと結婚されたと思います。旧家へ行きましたが近所の人も行き先き知らないとかでお手数ですが教えて下さい。

松原(今井)夫佐子(昭和20年卒) 横浜市

膝を痛めましたので高齢者住宅に半年前に移りました。よろしく願います。

佐藤三代子(昭和29年卒) 蕨市

会報が届くたびに、昔を想い出します。有難うございます。昨年は傘寿を迎え、思わぬ病気を無事に過すことが出来、皆様には感謝で一杯です。

田口栄一(昭和29年卒) さいたま市

戦時中、幟旗、ジンタ、軍歌で浦和駅まで兵隊送りをしました。途中浦和第二女学校(西高の前身)の生徒さんが窓から

日の丸の旗を振って激励。兵隊さんは帽子を振って応えた。

加藤(矢部)正納(昭和30年卒) 上尾市

私、りそな銀行サポーターアドバイザー、業務改革・改善運営資産運用etc提案。

荒井利尚(昭和31年卒) さいたま市

最近はめっきり行動範囲が狭くなり、ものを忘れることは容易に進み、タブレット端末とか、スマホなど、新しく覚えるとなると難しいのが現実です。残された時間は書棚と収納物置の整理廃棄などに追われています。

小田(中川)道子(昭和31年卒) 川崎市

静岡県沼津市より転居しました。元気で、合唱、朗読、ウォークと地元で活躍しています。

永堀(徹)昭(昭和32年卒) 川口市

前号の「あの先生は今」で悴田先生がお元気でいられると知り感動しました。別所沼時代、見沼田圃時代、と自然豊かな学舎での懐かしい思い出は数えきれません。

七澤(八木橋)敏子(昭和33年卒) 伊賀市

私は、市民センターの短歌教室「七転八起」の講師をさせて頂いています。ひと様の前に立つ器を作るのが目下の修行目標です。前頭葉の萎縮に抗いつつ奮闘中です。

袖山宝右(昭和34年卒) 札幌市

第2の人生。27年3月、蕨より札幌移住。



昨年の総会風景

28年4月、初の70代全日本アイスホッケー青森県八戸大会開催。北海道vs本土代表。

北海道代表で出場。次回目標は喜寿。

竹鶴寿男・竹鶴(中川)富美子(昭和34年卒) 鎌倉市

11回卒の同級生同士。金婚式を迎えて、二人共現役で仕事をしています。西麗会の発展を祈り、幹事の皆さまにお礼申し上げます。

平井靖夫(昭和34年卒) 札幌市

11期の平井です。私の作曲した西高祭歌と応援歌はまだ歌われています。平素のようか。一期上の木庄久子さん、同期の高橋幸雄君と合唱していた時期がなつかしい。

沢村(前川)栄子(昭和34年卒) さいたま市

後期高齢者になりますます体のあちこちに不安をかかえるようになりました。歩く事が良いと聞き30分程度の散歩を心掛けるようにしています。

会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

寺内房江(昭和13年卒) 宇都宮市

寺内の娘でございます。母は、平成27年9月26日に他界いたしましたので、ご連絡させて頂きます。 中川公江

高橋(関根)春子(昭和14年卒) 春日部市

平成28年2月に亡くなりました。今まで、ありがとうございました。

海野(千代倉)和子(昭和15年卒) 大府市

母海野和子(旧姓千代倉)は平成27年3月19日永眠しました。永年の御友誼ありがとうございました。 二女記

渡辺(小林)富代(昭和16年卒) 杉並区

会報ありがとうございました。母渡辺富代は、平成26年に他界しました。

(娘) 丸山久美子

別部(澤田)多恵子(昭和16年卒) 中央区

母、多恵子は平成27年2月21日永眠いたしました。生前のご厚志に感謝申し上げます。 別部雅佳子

石塚(白石)和子(昭和20年卒) さいたま市

平成28年8月23日に89才で永眠いたしました。大変お世話になりました。皆様のご健勝をお祈りいたします。 遺族

横山(竹田)和子(昭和22年卒) 港区

母横山(竹田)和子は平成28年3月20日、86歳で永眠いたしました。平素のご厚情を深謝いたします。 横山徹

和田(倉橋)久美子(昭和26年卒) 牛久市

平成27年9月25日に亡くなりました。

篠田年史(昭和29年卒) 川口市

2015年11月23日に父・篠田年史は亡くなりました。享年80才でした。

小川満党(昭和35年卒) 横浜市

まだ、慣れない所ですが、楽しくやっています。

佐藤(河合)喜和子(昭和35年卒) 千葉市

漢方「小青竜湯」について、体質的に水分多く分泌過剰(鼻汁、痰、涙、汗etc)に用いる。【出典】「傷寒論」大陽病篇

榊原靖馬(昭和35年卒) さいたま市

毎回同窓会の案内を戴きまして有り難うございます。小生体調が本調子でないため、欠席させて頂きます。皆様様の健康をお祈り致します。

八木 正(昭和35年卒) 大町市

体が動くうちに、今年は軽トラ27台分の薪ストーブ用原木を伐採、この原木中の良材から挽いた板で、何を作ろうか、と思案するのが、とても楽しみです。

吉村克昌(昭和35年卒) さいたま市

我々の時代は先生方が皆優秀だった。高須(小池)祥子(昭和36年卒) さいたま市

26年に孫娘が西高に入りそれは楽しい学校生活を送っています。勉強の面では課題が多く大変な様ですが自由な気風は私



記念授業 新井周二先生

達の頃と変わらず西高で本当に良かったと述懐しています。

齋藤庸夫(昭和36年卒) 蓮田市

6回目の干支を過ぎ晴耕雨読の日々です。月1回の若手教員とのふれ合いに元気を頂き、今の若者は頼りになると感じます。西高で学んだ多様性の受容は宝物です。

島宗俊郎(昭和36年卒) 名古屋市

今年の目標は富士山に6回目の挑戦する事。大学院を卒業する事。そしていずれ豪華客船で地中海クルーズをしたい。高橋千劔破(昭和36年卒) さいたま市

西高を巣立って半世紀以上が経ちました。まさに光陰矢の如しで今更乍ら時の流れの早さに呆然としております。残された僅かな時間で、何ができるのでしょうか。印南(奥村)協子(昭和37年卒) 四街道市

『今浦島太郎子』として西麗会デビューすることができました。名簿を見てなつかしい名前を見つけては、感激しています。鈴木清史(昭和37年卒) 鴻巣市

激動の三年間、ありがとう。担任だった伴田先生もお元気な様子。うれしくなります。根本明德(昭和39年卒) 水戸市

外国人誘客の仕事の依頼を受けて1年。実績が上がリ、仕事ぶりがNHKで何回も放送されました。1年の約束が今年も老骨にむち打って仕事に励んでいます。

後藤鉄四郎(昭和39年卒) 蓮田市

今年こそは仕事をやめようと。仕事なのか、ボランティアなのか、遊びなのか出張三昧です。あと5年と思い、気にせず食べて、飲んで、吸って。迷惑かけずに。

佐野和義(昭和39年卒) さいたま市

39年卒生、十数人でボーリング、ソフトボール、カラオケ、お花見、忘年会その他もろもろ楽しくやっています。皆さん老いて益々さかんです。



「0(ゼロ)乗とは何か!？」

岸元(竹田)敏子(昭和40年卒) 門真市

古希を迎えました。埼玉を離れて45年、懐かしく思い出します。卒業以来、母校にも行っていません。同窓会がないのが淋しいです。計画して頂けませんか?

前田静一(昭和40年卒) 川口市

中学・高校を通じての先輩、富田鎮雄さんが言っているとおり、ミスター西麗会の村上会長になってアカデミズムとリベラリズムの西高が又一步前進したようです。

中塚(横山)俊子(昭和40年卒) 練馬区

はるばると 遠野より来し 山桜 今を盛りと 咲き誇りらむ。難病にて、参加できませんが読書を楽しみとしております。西高時代が最高に幸せだった気がします。難民支援の為、貧者の一灯を続けたいです。

平田春夫(昭和41年卒) 名古屋市

平日は家庭菜園、休日は仲間と小型ヨットでのセーリングを楽しんでいます。今は旅行や自転車、山歩きに写真と、やりたい事がまだまだタップリです。

福田(三宅)建男(昭和30年卒) さいたま市

夫建男は平成28年3月27日に79才で亡くなりました。生前はお世話になりましたこと、お礼申し上げます。妻より

原田睿一(昭和31年卒) 戸田市

原田睿一、2015年10月2日永眠いたしました。同級生の方々には長い間ありがとうございました。77才でした。都築隼之(昭和31年卒) 茅ヶ崎市

山下 章(昭和32年卒) 横浜市

父山下章は平成26年3月10日に亡くなりました。これまで大変ありがとうございました。さいました。長男山下大輔

齊藤晃治(昭和33年卒) さいたま市

平成27年11月16日に亡くなりました。生前はお世話になり心より御礼申し上げます。

秋山(長美恵子)昭(昭和34年卒) 横浜市

妻美恵子は平成26年4月永眠致しました。生前はお世話になりありがとうございました。夫 秋山和夫

久保田英治(昭和36年卒) さいたま市

夫、英治は平成27年6月6日に他界致しました。長い間お世話になり有り難度う御座居ました。

高岡威之(昭和36年卒) 川越市

主人威之は平成26年3月5日に亡くなりました。お知らせ致します。

渡辺英昭(昭和36年卒) さいたま市

主人(英昭)は、昨年満開の桜の花を見て、2週間後に大腸ガンで他界しました。72才でしたが満足の人生を送ったと思います。皆様大変お世話になりました感謝申し上げます。妻 渡辺陽子

築瀬勝行(昭和41年卒) 川口市

現在は好きなテニスや弓道もお休みして
膠原病の治療に専念しております。50才
まで病氣知らずだったので気持ちは落ち
込みがみですが、前向きに生活したいです。

山田 茂(昭和41年卒) 海老名市

ごぶさたしてします。同期で卒業した演劇
部のメンバーとも、ずいぶん会ってませ
ん。そろそろ会っておこうかな?という
気持ちになってます。健康であるうちに!

関口(河野)彰子(昭和44年卒) 川口市

高校教員を定年退職後5年間再任用で働
きました。6歳で小学校に入学し59年間
学校に通い続け(22歳で立場が変わりま
したが)ついに学校に行かない4月を迎
えました。

近藤(安藤)綾子(昭和45年卒) 調布市

昨年11月に引越しました。

松本(小川)直子(昭和45年卒) さいたま市

一男二女の内、二女が母校を卒業、3人



生徒会長あいさつ

共家庭を築き4人の孫のババとなりまし
た。そして私は、趣味にボランティア活動・
時々託児と元気に走りまわっています。

島(高橋)茂美(昭和45年卒) さいたま市

平成26年11月にアイルが移転致しました。
旧店舗から程近く、20人位の小さな店で
すが、変わらず皆様のご来店をお待ちし
ております。

岩城真幸(昭和47年卒) 北広島市

最近、毎年クラス会が行われるようにな
り、出席するようになりましたが、いつ
も同じメンバーなので、ちよつとさびし
いです。出てない人、是非出席を!!

加藤輝男(昭和47年卒) さいたま市

一人暮らしをしておりますが、ヘルパー
さんに食事を作ってもらったり家事援助
をしてもらっています。みなさんの健康と
発展をお祈りします。

川上行生(昭和48年卒) さいたま市

昨年「西高を語る会」に出席させていた
だき、制服自由化した当時の生徒会長と
して経緯をお話しさせていただきまし
た。在校生と話ができて楽しかったです。

清水伸夫(昭和48年卒) 多摩市

会報の還暦同窓会写真を拡大鏡で拝見し、
誰一人同定出来ず、皆様の変わり様に驚
きました。夏の高校野球の応援で校歌を
歌いたいと思います。

松岡 毅(錫培)(昭和48年卒) 藤沢市

昨年4月に還暦同窓会を開催!10、20、
30、35周年と定期的に行いましたが徐々
に女性達が元気になるのが実感されまし
た。有志で行く名所へのぶら散歩が楽し
みです!

加藤(近藤)えみ子(昭和49年卒) 北本市

合唱班でよく校歌を歌いました。今は娘と
歌うことも。蓋し名曲。いつか又、白木先生
指揮、天沼さん伴奏で歌えたら。皆さんど

うか校歌を大切に歌い継いで下さい。

平田栄一・平田(武藤)愛子(昭和49年卒) 蓮田市

三男が大学を卒業し、就職で仙台へ巣立
ちました。子育てすごろくもようやくやくあ
がりになりました。ふり出しに戻り、夫
婦二人でのんびり過しています。

藤波茂雄(昭和49年卒) 町田市

昭和53年東京理科大学卒業後、(株)熊谷組
入社、現在勤続39年目。息子2人孫2人。
北は札幌、南は与那国島まで全国を出張
する日々を過ごしております。

夏堀(新井)操(昭和50年卒) 文京区

もう還暦ですが、なんと高校生の娘がい
ます。私達の頃は全然違うなと思いま
す。うらやましい所が多いですが、便利
過ぎて大変そうにも見えます。

岩田由美子(昭和50年卒) 所沢市

昨年11月、やっとリタイア出来ました。
孫も4月より認可保育園に入園し、憧れ
の趣味三味生活突入です。4月に上田市
の真田ドラマ館を堪能してきました。

石田(大澤)享子(昭和50年卒) 草加市

今年、還暦を迎えます。まだまだ年になん
か負けたくないです。一人娘が婚約しまし
た。やっと子離れできました。これからは
主人と二人の生活を大切にしたいです。

小島健一(昭和50年卒) 大阪府

小学生の頃別所沼の鮎釣から始め、川釣
海釣と色々遊んできましたが、今は近所
の湾処で鮎釣にはまっています。関西で
は道具が買えず巣鴨まで買出に出掛けま
す。

島澤信明(昭和50年卒) 札幌市

今年が定年の年となり、あと一年頑張ろ
うと思っています。札幌支店に転勤して
からもう30年以上たちました。定年後、
埼玉に戻ろうかな?

高本(榎本)富雄(昭和38年卒) 小諸市

夫は平成27年3月に他界致しましたの
でご連絡申し上げます。長い間会報誌
をお送り頂き感謝致して居ります。

森末典夫(昭和38年卒) 横浜市

森末典夫(昭和38年卒)平成28年2月12
日心不全で逝去しました。私は同窓生
でスキー仲間の橋本保彦と申します。
仲良く遊んでいたのが大変寂しいです。

遠藤忠宏(昭和39年卒) 川口市

平成27年4月6日に亡くなりました。
お世話になりました。妻より
梶(折原)菊枝(昭和39年卒) 坂戸市
平成27年の12月27日に亡くなりまし
た。70才。

坂本光雄(昭和40年卒) さいたま市

夫光雄は平成26年2月16日に永眠いた
しました。生前はお世話になり、あり
がとうございました。妻 さち子

佐藤(小暮)政子(昭和41年卒) さいたま市

私佐藤政子(旧小暮)の夫信隆と申し
ますが、政子は平成27年7月30日に死
亡致しました。

浜田(佐藤)節子(昭和41年卒) 江戸川区

妻浜田節子は、平成28年3月21日逝去
いたしました。永い間御交誼賜わりあ
りがとうございました。

村上豊道(昭和41年卒) 日野市

平成28年12月8日に逝去しました。
遅沢克郎(昭和42年卒) 川口市
平成27年12月27日 夫克郎は永眠いた
しました。生前御交誼賜わりましたこと
と厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

妻 初美

妻 初美

石川(大熊)理恵(昭和51年卒) 板橋区

平成29年秋くらいに、同期会を予定しています。前回の通知が届かなかった方で出席ご希望の方は、同窓会名簿の石川宛にご連絡くださいませ。

伊藤(小野寺)京子(昭和51年卒) 草加市

昨年、さとみと一緒に西高の文化祭に行きました。校舎のきたなさには驚きでしたが懐かしかったです。

小林成信(昭和51年卒) 世田谷区

一昨年、ネパール大地震では私も参加した国際緊急援助隊に御支援頂き感謝致します。西高関係者のグローバル社会での御活躍を引き続き折念申し上げます。

伊佐治(一彦)(昭和53年卒) 町田市

西高時代から始めたテニスを、現在も続けることで健康維持につとめています。IT関連の仕事をしています。技術革新のスピードに追いつきながら頑張っています。

小田都子(昭和53年卒) さいたま市

平成28年3月に、浦和西高サッカー部の監督だった仲西駿策先生の傘寿(80才)を祝う会に出席。久し振りに懐かしい先輩、後輩にも再会することができました。

新藤(小磯)葉子(昭和53年卒) 練馬区

二月の東京マラソンに参加することが出来て、無事、完走できました。これからも、挑戦する心を持ち続けたいと思っています。

桃井雅史(昭和59年卒) 新発田市

相変わらず新潟で教員稼業を続けています。娘が埼玉に住むようになり、少しだけ縁を感じるようになりました。実家にもママに帰省したいのですがなかなか…。

設楽信生(昭和60年卒) 東京都北区

この会報に近況を寄せたことから、毎日郵便を届けてくれるのは西高OBだと知り

りました。

林 百合(昭和61年卒) 川口市

隣に引越し三年目になりました。

高橋(篠原)俊光(昭和62年卒) さいたま市

栃木県の方に行っています。元氣です。

宮川 茂(昭和62年卒) 板橋区

現在パラオでリゾート関係の仕事をしております。弟が日本との連絡の橋渡しをしております。パラオへのご旅行の折はお立寄り下さい。

中井(新谷)葉子(昭和63年卒) 吹田市

全国ネットのコマーシャル「サカイ引越センター」で「あ！パンダー」と叫んでいるのが息子の駿です。夢は仮面ライダーになること。応援宜しくお願いします。

岸 義朗(平成元年卒) 松本市

家族4人、松本で元気に暮しております。

馬場剛雄(平成元年卒) さいたま市

ただ今娘が中学三年生。来年の春は高校生になります。この会報が届く時がとても楽しみです。西高生になれるといいのですが…。今のところ難しいかな。(笑)頑張ってます。

森切(小林)瑞恵(平成2年卒) 越谷市

42回卒業生の同窓会に参加しました。担任だった先生にもお会いできて、楽しい時をすごせました。幹事の方々も会を盛り上げる為の準備大変だったと思います。ありがとうございます。

平山恭子(平成5年卒) 鴻巣市

皆さん 頑張りますよ。

藤谷 悠(平成8年卒) 越谷市

越谷に越してきました。西高時代は本当に良い思い出です。



懇親会終了後の集合写真

木村信之(昭和48年卒) 上尾市

平成27年9月に急逝いたしました。還暦同窓会に参加出来た事をとても喜んでおりました。生前は大変お世話になりました。お礼申し上げます。

飯田(遠藤)眞吾(昭和49年卒) 柏市

夫飯田眞吾は平成27年12月11日急逝致しました。3月に退職してこれからのいう時に残念です。今までありがとうございました。妻 飯田恵子

鈴木健紀(昭和57年卒) 吉川市

息子鈴木健紀は、平成27年2月16日に他界致しました。父 鈴木喜明

高橋(古屋)景子(平成10年卒) さいたま市

主人の希望もあり、浦和に移り住んで八年が経ちました。レッスンの観戦に、息子のサッカーの遠征にと多忙な週末。充実した毎日を送っております。

久良木基広(平成11年卒) さいたま市

父親が癌闘病の末、66歳の生涯を終えました。太く短い人生だったのでしようか、生前の父親は生に餓えていました。僕も父親と同じものを感じます。

京極弘子(平成12年卒) さいたま市

現在は息子(3歳)と2人で、楽しく暮らしています。

野口 渡(平成12年卒) さいたま市

電車好きの2歳児の父です。今年、16年勤めた工務店を辞めて、独立しました。

日置 海(平成26年卒) 戸田市

3年前に引越しました。

吉田(宮本)明枝(平成8年卒) 鈴鹿市

夫の転勤で、初めて関東を飛び出し、三重県で新生活をスタートしました。人生何があるかわからないので、せっかくのチャンスを楽しんでいます。

角田角長(平成10年卒) 三鷹市

皆様のご活躍いつも嬉しく思います。

会員情報



西高周辺をくくく見て歩き

赤山街道 第2回

西高通りと並行する「赤山通り商店街」にその名を残す「赤山街道」は、江戸時代に治水や新田開発を行った伊奈氏が川口市赤山に築いた赤山陣屋（通称・赤山城）と現場とを結び、物資の輸送や連絡のために整備した道です。
 前回はJR与野駅から歩き始め、大東の富士塚、旧高野隆仙の離れ座敷、浦和本陣遺構の大熊家表門などに寄り道をしながらJR東浦和駅までを紹介しました。
 今回は赤山陣屋をめざして歩きます。

八丁堤まで

東浦和駅南口からまっすぐに伸びる駅前通りをななめ左に入ると急に道幅が狭くなります。当時の人たちが往還していたのはこの道です。

左手に見沼代用水西縁を見ながら附島橋を過ぎると小高く盛られた所に附島氷川女体神社があります。

神社の説明板によるとこの付近は住民全員が吉田姓だったとのこと。

そこへ近隣の方が参拝に来られたので、「失礼ですが……。」とうかがうと、やはり「吉田と申します。」94歳に



附島氷川女体神社

なるというこの方をはじめ、地域の吉田さんたちが長年、この神社を守ってこられたそうです。

吉田さんと別れて東に進むと鈴木家住宅があります。鈴木家は享保12（1727）年に井沢弥惣兵衛為永に従って見沼干拓事業に参加し、見沼通船堀の完成後は通船業務をつかさどりしました。現在の建物は文政年間（1818〜30年）のもので、現在も住宅として使われています。

鈴木家住宅の東側には芝川が流れており、八丁堤を渡ると赤山街道は八丁堤の上を通ります。八丁堤は農



赤山街道(さいたま市緑区)

業用水確保のため寛永6（1629）年に伊奈半十郎忠治が築造したもので、堤の長さが8町（約870m）あったことからこの名があります。

この堤は後に徳川吉宗の享保の改革の際に新田開発を命ぜられた井沢弥惣兵衛為永によって開削され、西高周辺に広がる見沼たんぼになるのです。

木曾呂の富士塚

八丁堤を歩き、稲荷神社を過ぎるとさいたま市を後にして川口市に入



木曾呂の富士塚

ります。ここで恒例の「寄り道」をして「木曾呂の富士塚」に立ち寄ります。江戸時代の富士山信仰により造られたもので、高さ5・4m、直径20m、頂上には火口を模したくぼみもあります。

本物の富士山に登れない人が登ったり、本物に登頂できた人がお礼を寄進したりしたもので、近くには「登頂三〇回達成」の記念碑なども供えられています。

現存する県内最古の富士塚で、国の重要有形民俗文化財に指定されています。

阿弥陀堂の交通案内石塔

南陸橋通りを横断して再び赤山街道に戻ります。道路の名称は「吉場安行東京線」となります。

この交差点からすぐに、木曾呂の阿弥陀堂があります。お堂への参道には延宝8(1680)年とか寛延3(1750)年などと刻まれた庚申塔や、観音像、地藏、馬頭観音などが多数、まつられています。中でも「猿田彦大神塔」には、「西 八町かし江五丁 浦和江二り 大宮江三り 秋葉へ六里」「東 新町江八丁 草加江二里 こしがや江二里 千住江四里」「北 大門江二十八丁 岩つき江三里」「日本はしへ六里」「南 前川観世音へ三十丁 ほとがやへ三十丁」などと詳細な交通案内が刻まれています(一里は約4km、一丁は約110m)。皆さんも地図で確認してみてください。

赤山陣屋に到着

このあと、赤山街道は東北自動車道によって分断されます。私たちは歩道橋を渡り、赤山陣屋をめざします。このあたりは徳川将軍が日光東照宮へ行く際に通ったことから「御成

街道」と呼ばれています。また、植木の町として知られる安行にも近いことから周囲には植木や苗木の畑も目につきます。



赤山陣屋跡

赤山陣屋は寛永6(1629)年に伊奈忠治によって築かれました。堀の中に本丸と二の丸、堀の外に出丸を備える本格的な構えです。規模も大きく、家臣屋敷を含めた総面積では大阪城と比較しても遜色ないというから驚きです。

残念ながら寛政4(1792)年、伊奈氏は改易となり、赤山陣屋も取り壊されました。

赤山街道は与野駅から西にも伸びているようですが、それはまたの機会にお伝えします。みなさんも西高周辺の見所や旧跡の情報などお寄せください。



空堀のあと

おことわり

この記事は2016年秋に西麗会広報部が現地取材して作成したものです。本記事中には現地案内板やホームページの記事を参考にした部分があります。

(広報部 大熊・小林)

二〇一六年度

寄付者のお名前

(敬称略)

毎年、多くの方からご寄付をいただき、ありがとうございます。

西麗会の活動は、卒業生が入会する際の終身会費と、その後の任意のご寄付によって支えられています。

皆様からのご寄付は、現役の西高生の自治的活動を応援するための「西高祭援助金」のほか、入学時の記念品、卒業時の卒業証書ケースの贈呈など、後輩たちにも喜んでいただいております。

千円、二千円の尊いご寄付がたくさんの方から寄せられると、現役西高生への応援にもなります。どうぞよろしくお願いたします。

吉田克子

昭和27年卒(4回)

梅田亮子 林敏子

昭和28年卒(5回)

正木敏雄 紀富子
川岸萬知太郎

昭和29年卒(6回)

大竹栄子 黒澤和子
田口栄一 大熊幸子
佐藤三代子 森久昭子
西口和子

昭和30年卒(7回)

小林茂水 貫井博之
森井良子 福田建男
鈴木正明 山田勝弘
鈴木美美子

昭和31年卒(8回)

新井英一 松本晃
山根祥二 栗本東子
冷水俊朗 荒井利尚
原田幸子

昭和32年卒(9回)

今井忠 永堀徹
門本ヨリ子 小林久江
中川美眞子 高屋弘一
立川武司 府川代四男

昭和33年卒(10回)

豊島泰之 古畑喜美子

七澤敏子 竹ノ谷光美

成田誠 町田利之
本庄久子

昭和34年卒(11回)

富野賢子 小川紀夫
清山和男 齊藤肇
高橋幸雄 堀野忠夫
中枝和子 三林芳子
袖山宝右 上原志那子
岡崎輝子 井川征郎
渋谷谷紘 平井靖夫

昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 高橋恵美子
佐藤喜和子 高橋正臣
八木正 吉村克昌

昭和36年卒(13回)

中川明紀子 石川重夫
輿水敏男 宮下巖
村上明夫 小川敬子
岡本須和子 小林茂
高橋司全 青山明子
海老原稔 田中登
斉須祥子 齋藤庸夫
島宗俊郎 高橋千剣破
豊島義明 星野康弘

昭和37年卒(14回)

長本和子 藤田静子
石塚玲子 福島眞砂代
松井都 林聡慧
善林彬人 斎藤俊和
細田勝彦 鈴木清史

藤井克己 吉岡信二

昭和38年卒(15回)

石川陽子 入澤洋子
高橋正弘 中河原喬一
木戸晃 橋本保彦

昭和39年卒(16回)

那須雅江 山田菜穂子
村井公子 小沼小夜子
根本明德 田中裕子
那須弘美 守川黎子
佐野和義 矢部公利
山田康博 宇治田進
内山一郎 金子芳雄
後藤鉄四郎 富永正敏
永田裕 村井勝美
佐藤誠造 森茂
山田信彦

昭和40年卒(17回)

鶴岡保 鶴見雅之
田口勝栄 板坂洋
服部光之 後藤妙子
金子揚子

昭和41年卒(18回)

鶴澤利雄 西野久美子
浜田節子 宇根等
武内一雄 江川清
佐藤裕子 関根耀子
高橋みつ子 池澤堯彦
佐野茂 松村光雄
佐竹清 篠原誠司
大熊幸雄 平田春夫

昭和42年卒(19回)

稲垣昇 伊藤きみ子
阿部輝雄 今井登志樹
甲斐佳晶 上倉功
井上千津子 榎本信子
河合のり子 佐竹恵津子
前田礼子 松本登美子
渡辺美嗣子 佐藤良雄
斉藤憲一 長久保洋二
匿名

昭和43年卒(20回)

阿部康夫 石井裕
松田博 山岸勉
三谷真弓 山本寿子
板野敏子 木村美代子
佐藤美恵子 國吉栄
本間葉子 松田章子
八木純子 横山千津恵
小川敬一 磯田喜美子
田村政広 千谷一郎
片岡素子 山下和子

昭和44年卒(21回)

安藤昭 奥山清志
外山雅一 岩井かつ子
関口彰子 村田房子
金子正男 丸山紀子
榊原啓子 新井三津恵

昭和45年卒(22回)

吉田和枝 斉藤俊一
島崎富夫 松本直子
大類由美子 小林三恵
堀田美枝子 綿貫保子

昭和14年卒(旧2回)

鎌木美恵子

昭和21年卒(旧9回)

薄田美江子

昭和16年卒(旧4回)

月野喜美子

昭和23年卒(旧11回)

岡本明子 鈴木栄子
花井喜久江

昭和18年卒(旧6回)

折笠栄子 中島和子
松村喜美 脇屋谷子

昭和24年卒(旧12回)

天野美子

昭和19年卒(旧7回)

井上昭子 小熊則子
北原昌子 山口澄子

昭和25年卒(2回)

大澤志女乃 河岡克子
鈴木和子 宮田仁子

昭和20年卒(旧8回)

杉山幸子

昭和26年卒(3回)

岡田幸子 粕川初枝
高際ひさ子 宮山初枝

あの先生は今



荒井 桂(社会) 東松山市

昨秋八十歳となりました。初任教として西高に奉職。すばらしい先輩方に仕込まれ、個性豊かな卒業生諸君にも恵まれ、忘れがたい学校です。西高に
栄えあれ。

石渡明夫(社会) さいたま市

脊柱管狭窄症の手術を、昨年今年と二度やりました。山歩きも卒業ですが、まだフルタイムで働いています。西高の山岳部は今どうしているでしょうか？

伊藤美和子(事務) さいたま市

元気でおります。
好きな趣味を楽しんでおります。

白木恵二(音楽) さいたま市

今年71才になりますが、西高在職中にコダーイの音楽教育法を勉強したおかげで三月カンボジアの子供達に音楽を教えて来しました。

小川 均(理科) さいたま市

教員生活から足を洗い今は晴は畑、雨は映画の生活です。我が菜園は雑草が多く、猫の額の畑は西高生よりも手間がかかります。今年のメインは青パパイアです。

菅野吉雄(校長) さいたま市

生徒指導課いじめ・非行防止支援員をしています。西高卒の長女が言って

いました。「西高には、いじめがない。何故なら、お互いの個性を尊重しているから」。

久津間文隆(理科・地学) 川越市

毎号、表紙のすてきな揮毫を楽しみにしています。ヤブカンゾウのオレンジ色、カラーで見たかったですね。

小林 功(国・司) さいたま市

浦和西高の前身、第二高女第一回卒業生寺内房江さんの訃報に接し、心からお悔やみ申し上げます。80周年記念誌でもお世話になりました。

齋藤 恂(国語) 銚田市

認知症予防のため19世紀英文学の逐語訳(翻訳とまではいかない)に取り組んでいます。『サイラスマーナー』に涙したりして、結構楽しめます。到達目標は『嵐が丘』です。

島崎富夫(教頭) さいたま市

年に何度か西麗会の役員として西高に行くのが楽しみになっています。今後とも西麗会員の立場から高野校長先生を応援していきたいと考えています。

進藤文子(養護教諭) さいたま市

今年度より岩槻北陵高校に異動しました。母校である浦和西高校で10年間勤務できたことを誇りに思います。現任校でも努力していきたいと思えます。

菅原鉄也(国語) さいたま市

相変わらず、北陵生と一緒に勉強しています。いろいろな人々に支えられていることを、実感しております。

楚山大和(英語) 上尾市

「人生七十古来稀なり。」兪々、古稀を迎える事となりました。10年間勤めた大学を最後に教壇から去ることにな

ります。46年間の教職の礎を築いてくれた西高生活に深く感謝しています。

館野俊則(国語) 東松山市

週三日、大学と専門学校で「文章表現法」の授業をやっています。教室の中をウロウロと歩き回り、大声で話すー私流の「健康づくりプログラム」です。

谷川 洋(理科・生物) さいたま市

大宮南高勤務になり、西高時代とおなじハンドボール部の顧問になりました。試合会場で西高チームのがんばる姿を見て、ライバルながら応援しています。

富田貞一(社会) さいたま市

入院中のため欠席します。ご盛会を祈ります。

中村正美(英語) 川越市

「教育とは、立腹したり、自分を喪失したりせずにほとんどすべてのことに耳を傾けられる力のことだ」という言葉を胸に教壇に立っています。この境地には中々到達できません。

藤井くに江(数学) さいたま市

昨年浦和伊勢丹で浦和西高卒の日本画家瀬下梓さんの展覧会(三人展)を拝見し我が家の愛猫の絵も注文して描いてもらいました。大変素晴らしい作品で感動しました。

堀口幸夫(教頭) 吉見町

教頭として二年の勤務でしたが、三十八年の教職員としての生活の中で、有数の思い出深い高校です。自由闊達な高校として。当時軟式野球部が全国大会に出場しました。

山口畑一(社会) さいたま市

西高に着任した年から五十年。旧年叙勲にあずかりましたので心ばかりの記念品を西麗会にお贈りさせていただきます。貴校の益々の彌栄を祈念申し上げます。

山下照夫(校長) 熊谷市

蟬

ゆく夏の村の社のくもの巢の
もがける蟬を天に放てり
短歌を作りながら、余生を送っております。

和田幸男(社会) 鳩山町

会報第40号、有りがとうございました。「ボールとともに」で今井敏明氏が当時のサッカー部について語っています。地理の恩師藤藤浪武三先生をなつかしく思い出しました。

渡部裕三(理科) 草加市

浦和西と一緒に過ごした先生方や生徒達から沢山のことを学びました。特に教科指導や生徒会活動の経験は現在の学校での指導の源になっています。残り二年がんばります。

訃報

岡安志朗(社会) 鴻巣市

脳梗塞で八十九才で死亡いたしました。生前は大変お世話になりました。妻より

高橋春雄(国語) 杉並区

平成27年3月18日に逝去いたしました。享年八十八才。教職と近代文学が天職でした。ありがとうございました。妻より



- 弓道部は南部地区大会で男子団体1位、県央支部大会で男子団体1位、女子団体1位となりました。
- 女子サッカー部は学校総合体育大会で県4位に入賞しました。
- 女子バスケットボール部はインターハイ県予選4位に入賞しました。
- ハンドボール部は1年生大会で男子がブロンク1位となり、決勝トーナメントに進出、女子は地区新人戦県大会に進出しました。
- 器械体操部は関東大会県予選に出場しました。
- 田中美貴さんが描いた第66回西高祭ポスターは、「第22回高校生学園祭ポスターコンテスト」で最優秀賞に選ばれました。



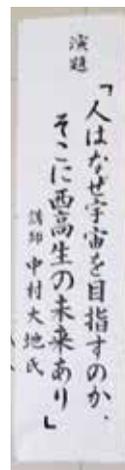
○西麗会理事会は2016年7月3日、第1回西麗会セミナーを開催。
歴史研究家青木義脩氏による講演「浦和西高校周辺の歴史と文化」を、本会理事や近隣住民など数十名が聴き入りました。



○本会会員で、コーラスグループ「サーカス」の元メンバー、叶央介さん(昭和50年卒)は、2016年9月4日、第66回西高祭のPTA文化講演会において「ずっと歌を歌ってきた」と題する講演を行いました。叶さんは「サーカス」の活動をいったん離れ、ハワイアンヴォーカリストとして活躍。現在は原順子さんと夫婦ユニット「2Voice」を組んで各地で大人の音楽会を開催しています。

○本会会員で平成19年卒業の中村大地さんが2016年10月21日に1年生対象の進路指導プログラムの「未来の種」で「人はなぜ宇宙を目指すのか、そこに西高生の未来あり」と題して

講演を行いました。航空宇宙工学科を卒業され現在はJAXAに勤務、宇宙の専門家集団の中で現在はフライトディレクターとして修理などの手順を説明したり指示を担当されています。筑波宇宙センターでは仕事で通常は日本語だが他の部署との会話は英語、ロシア語が基本。仕事の英語だけではなくコミュニケーションとしての語学力も必要と話されました。



なぜ宇宙を目指すのか？好奇心に正直になる↓色々な経験をすると↓未来が見えてくる。目的を持つことの重要さを熱く語られました。(事業部)

お世話になった先生方

平成28年度人事異動 (敬称略)

校長	金子 幸誠	定年退職
教頭	西山 茂	所沢中央高校
書道	遠藤 克久	越谷北高校
理科	平野 正人	妻沼高校
国語	浅見 愛	新座柳瀬高校
養護	進藤 文子	岩槻北陵高校
英語	熊田 敏夫	任期満了
数学	酒井 晃	越谷北高校
書道	小嶋 博之	任期満了
国語	多田 裕亮	春日部高校(定)
公民	上原 拓馬	志本高校
実習教員	小林 祥之	狭山台中学校
事務室	竹中かおり	川口北高校
業務主事	島田 千裕	大宮高校
地歴公民	山下 節子	任期満了
保健体育	黒崎 直樹	任期満了
美術	斎藤 悠紀	任期満了



同窓会だより

今日だけ高校生

7まわりめの中年にさるどし

宮山 初枝 (昭和26年卒)

去る平成28年10月25日、浦和伊勢丹7階のバンケットルームにて、7回目の干支、申年を迎えての級会を開催致しました。84歳という年齢を感じさせない元気なクラスメイト21名が集まりました。

私達は昭和20年4月に県立第二高等女学校に入学し、浦和第二女子高等学校併設中学校、浦和第一女子高等学校、浦和西高等学校と6年間在校した級です。その後、浦和西高校に勤務された故・中野喜美先生も同級でした。入学式当



日、B29の空襲があり、校庭の防空壕に避難して、上空の爆音に身をちぢませていました。入学式は翌日に延期となりましたが上級生は生徒動員で学校には登校しておらず、その後の授業でも戦闘帽のあごひも作りや穴かがりの奉仕をしました。

その年の8月に終戦となり、2学期からの教科書は上級生からいただき、墨で消しながらの授業でした。そのような学校生活の中でも修学旅行が復活し、夜行列車で京都・奈良に行き、二泊三日の旅をしたのはよい思い出です。

会報第40号に昭和23年3月、73名が併設中学校卒業、との記事があります。そのうち63名が高校に進学しております。当時は転入、転出の異動が多かったものの、昭和26年3月に卒業した数は63名でした。その後、約65年を経て、この日出席した級友達はそれぞれの人生の壁を乗り越え、皆アクティブに生きておられました。6年間の中、高の時代を過ごした浦和西高の教育のたまものと信じております。

次は米寿を目指して再会を約しました。第3回卒業生一同よりの寄付金を同封いたします。西麗会のみますの発展を祈念申し上げます。

卒業後六十周年を記念して

橋詰 静穂 (昭和31年卒)

眼下に別所沼を見下ろす学舎で三年間過ごし旅立った第八期生(入学時男



浦和西高昭和31年卒60周年同窓会 平成28年10月21日 於浦和伊勢丹クローバールーム

女各一〇〇名)が、卒業後六十周年を記念して、十月二十一日同窓会を開催しました。

出席者四十名は、いとも簡単に西高時代にタイムスリップして、思い出話に花が咲きました。

この場に元気で参加できることに感謝しながら楽しいひとときを過ごしました。

いつも裏方に徹してくださいさる幹事さんにお礼を言いつつ、これで最終回とせず、また、是非、集まりましょうと約束して散会しました。

第五回学年同窓会を開催

土門 憲司 (平成5年卒)

今回で5回目となる学年同窓会。大宮のラフォーレ清水園でリオ・オリピックの開会式と同日の2016年8月6日に行われました。40代前半という仕事や家庭において多忙な時期に、90名弱の同窓生が集まり、昔話に花を咲かせました。

恩師代表として、国語科の田辺先生にご参加頂きました。

乾杯がやや遅れるハプニングもありましたが、一次会は盛会のうちに幕を閉じました。

また、二次会では同窓生の猪瀬くんのお店で二次会を開きま



した。こちらも満席で、また数学科の佐藤先生が駆け付けてくれました。次回も、4年後のオリンピック・イヤーに開催します。

第42回生同窓会開催報告

中里 史朗 (平成2年卒)

平成28年5月7日(土) ホテルブリランテ武蔵野にて第42回生(平成2年卒業)同窓会を開催いたしました。

当日は5名の担任の先生方にもご参加いただき、150名超が集う盛大な会となりました。卒業26年にして初めての学年同窓会でしたが、その時の流れを感じさせないほど、思い出話に花が咲きました。2時間半という時間で



は語り尽くせず、2次会の参加者も120人を超え、さらに旧交を深めることができました。

本会開催にあたりまして、事前準備・企画運営・当日受付・進行等々に携わってくださった同期の皆様には改めて御礼申し上げます。次回は4年後の2020年に開催する予定です。元気な姿でお会いしましょう。

入学五十周年記念同窓会

綿貫 保子 (昭和45年卒)

平成28年10月22日、浦和ロイヤルパインズホテルにおいて第22回卒業生西高入学50周年記念同窓会が開催されました。

当日は今年90歳を迎えられる恩師山口畑一先生をお迎えして91名の出席者が集い旧交を温めました。前回開催した還「激」同窓会から5年ぶりの同窓会でしたが先生のまた5年後に元気に出席したいとのお言葉に一同大拍手！

テーブルは入学時の1年生のクラス分けで着席。同じクラスだったの



も忘れていて50年前の記憶を辿りつつ話の花が咲きあつと言う間にお開きの時間となりました。

2次会もホテル内で会場を移して開催、5年後の再会を約束して名残を惜しみつつ散会しました。

今回ご出席の皆さんはまた5年後に、欠席の方もぜひ5年後には元気にお会いしましょう！

同窓会予告

詳細は西麗会ホームページで確認してください。

昭和41年(第18回)卒業生
古稀同窓会

【期日】平成29年11月22日(水) 午後

【会場】パレスホテル大宮

昭和50年(第27回)卒業生
還暦同窓会

【期日】平成29年5月14日(日) 午後

【会場】ホテルブリランテ武蔵野

昭和51年(第28回)卒業生
還暦同窓会

【期日】平成29年11月18日(土)

【会場】パレスホテル大宮

※あくまで予定で、決まり次第連絡します。
【幹事】関根道夫、石川理恵

5月28日(日) 母校で会いましょう ～西麗会総会のご案内～

日 時 2017年5月28日(日)
 10:30 総会開会
 11:30 記念授業
 12:40 懇親パーティー
 14:30 閉会予定

会 場 西高50周年記念館

記念授業講師 丸山光夫 先生(数学)

演 題 「数学と自立
 ー高校時代そして今」



▲ 昨年の総会



▲ 記念授業の恩師を囲んで

今年の記念授業は数学の丸山光夫先生

「数学と自立 ー高校時代そして今」



今年の総会の記念授業は数学の丸山光夫先生です。丸山先生は長野県長野高等学校から東京学芸大学教育学部数学科を卒業、昭和49年埼玉県立狭山工業高校で教員生活をスタートされました。浦和西高では平成3年から平成6年まで教壇に立たれ平成22年に県立川口北高校の校長先生を最後に定年退職されました。

今も熱心に教育の分野に関わられ、また趣味で現在お住まいの鴻巣市の鴻巣フィルハーモニー交響楽団でバイオリンを弾いていらつしやいます。3年間という短い期間でしたが弓道部、ソフトボール部の顧問、生徒会で生徒指導などに取り組みました。

西高はユニークな学校、1年生と2年生を担任したが良い生徒たちに恵まれ大変だったけれど手応えが有って楽しかったとお話しされる姿はとても若々しく今回の記念授業もとても楽しみます。

「数学と自立ー高校時代そして今」このテーマからどんな授業になるのか数学が得意だった人も、苦手だったと言う人も、卒業生の皆さんぜひ一日高校生に戻って授業を受けに来ませんか？

(文責) 阿部博之
 綿貫保子 (昭和45年卒)

編集後記

西麗会会報第41号をお届けします。

会報第39号からA4判と誌面を大きくし、41号ではカラー化に踏み切りました。写真などが鮮やかになり、より親しみやすく、読みやすくなったことと思います。

広報部では西高卒業生の情報交換の場として、より良い誌面づくりを目指しております。皆様には建設的なご意見をお寄せくださるよう、お願い申し上げます。(大熊)

広報部

大熊 幸雄・本間 葉子
 堀田美枝子・小林 功
 岩本 和久・片岡 浩一

編集・発行

西麗会

発行人 村上明夫
 編集人 大熊幸雄

〒330-0042
 埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1
 FAX 048(830)1117
 西麗会メールアドレス
 info@seireikai.org
 西麗会ホームページ
 http://www.seireikai.org/index.html